

湖北と高島を結んだ道

湖北と高島を結んだ道

古くから高島市域には西近江路や九里半街道などの日本海と都をつなぐ主要な街道があり、活発に人や荷が行き来していました。一方、湖北と高島を結ぶ道には海津大崎を通るルートと万路越を行く2つのルートがありました。海津大崎ルートは岩場が多く難所続きであったため、かつてはマキノ町小荒路からの万路越ルートが一般の道でした。

峠道・万路越

万路越ルートは、マキノ町小荒路と長浜市西浅井町黒山間の峠道です。古くから湖北と高島を結ぶ重要な道であったことから、道の補修が度々行われていました。江戸時代には幕府の役人が視察をする際に補修を行うように小荒路村に指令を出していた記録が残っています。

また、明治政府は道路を国道・県道・里道に分け、万路越ルートは西浅井道として里道でありながら県費で管理されることになり、



大崎隧道 (トンネル) の 開通

昭和に入ると、地元住民の願い

もあって難所が多く危険な道とされていた海津大崎ルートにトンネルを掘って道路を建設しようとする動きが起こります。昭和10(1935)年1月から工事が始まり昭和11(1936)年6月に5つのトンネルが完成しました。大崎トンネルが開通したことによって、これまで通行することのなかった自動車やバスが通るようになり、湖周道路としての利便性は飛躍的に向上しました。この道は昭和62年(1987)に奥琵琶トンネルが開通するまでは国道303号として湖北と高島を結ぶ主要道でした。

なお大崎トンネルの工事中から開通直後頃にかけて道路工事関係



大崎隧道 (開通当時のようす)



海津大崎の桜 (平成31年のようす)

者の手によって植えられた桜は、今では湖岸に沿って美しい桜並木が続く「海津大崎の桜」として知られ、高島を代表する観光名所の一つとなっています。

文化財課 (25)8559

編集 雑感

皆さん、コーヒーはお好きですか?大きく変化した生活の中で、何かワクワクする楽しみを!と思い、コーヒーミルなどの道具を一式そろえて休日の楽しみにしています。市内で調達したおいしい豆で、自分好みのコーヒーを淹れる、至福の時間です♪ お気に入りのコーヒーを片手に広報誌を読むのもおすすめです! (Y.H)



広報たかしま

令和3年

4

月号

No.255

発行▼高島市

編集▼政策部企画広報課

滋賀県高島市新旭町北畑5の5番地

☎0740(25)8000(代)

http://www.city.takashima.lg.jp

t:info@city.takashima.lg.jp